

中学生の放課後等活動の充実に向けて(案)

～部活動の地域展開～

(令和7年6月現在)

1 部活動の課題

- 少子化の進展・部員数の減少による活動の衰退化
 - 活動を担う教員の大きな負担
- これまでと同様の体制で活動を継続することは困難

杉並区でも…

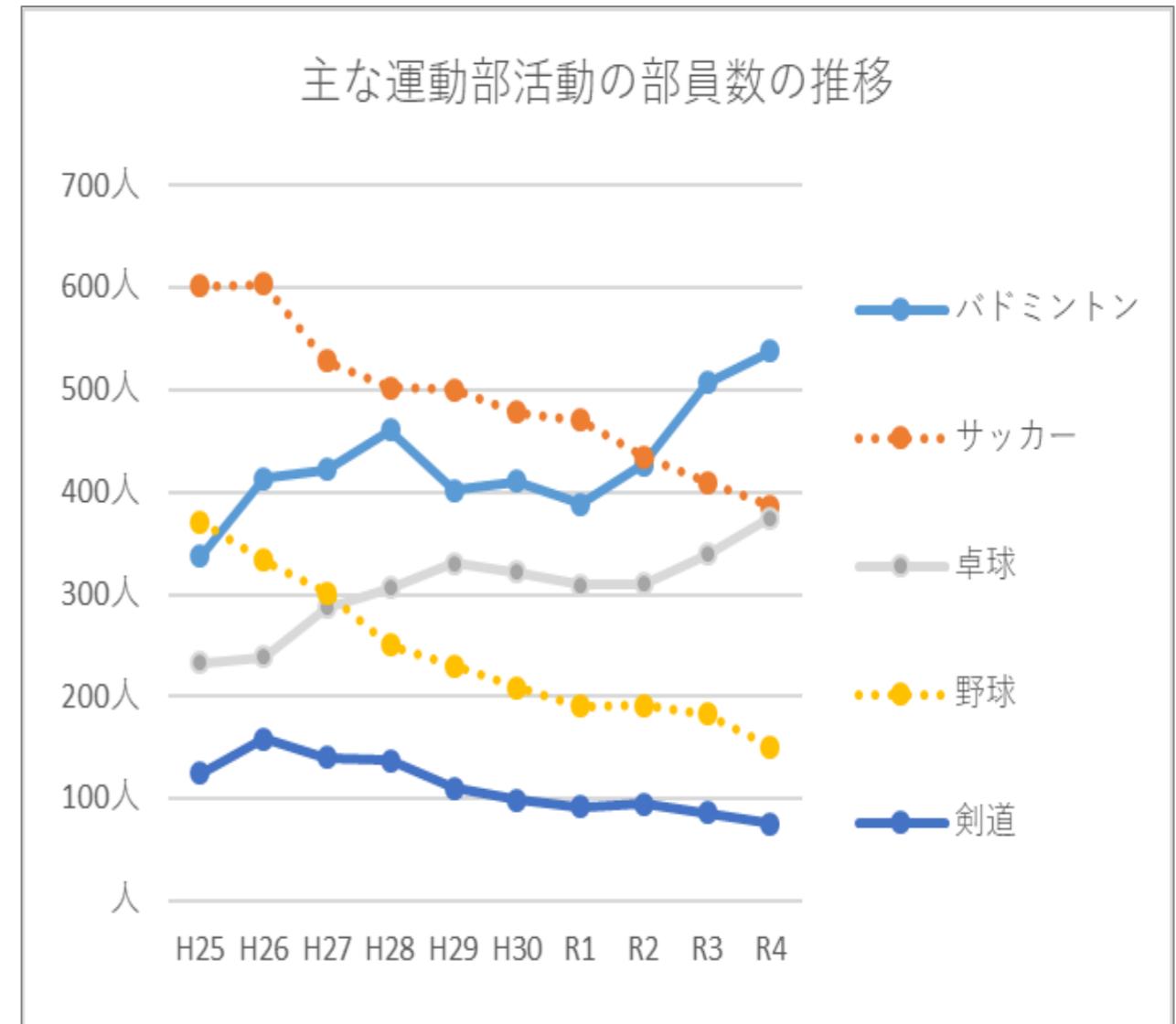
集団競技の部員数が減少傾向
既に単独校では、
大会に出場できない学校もある

例えば…

軟式野球部は、区立中学校23校の内
①既に部活動がない中学校12校
②部活動はあるが部員数が競技実施可能人数に
満たない中学校5校

※令和6年度

図 部員数上位10種目(令和4年度)の内
10年前の部員数と比べ増減率が30%を超える種目の推移

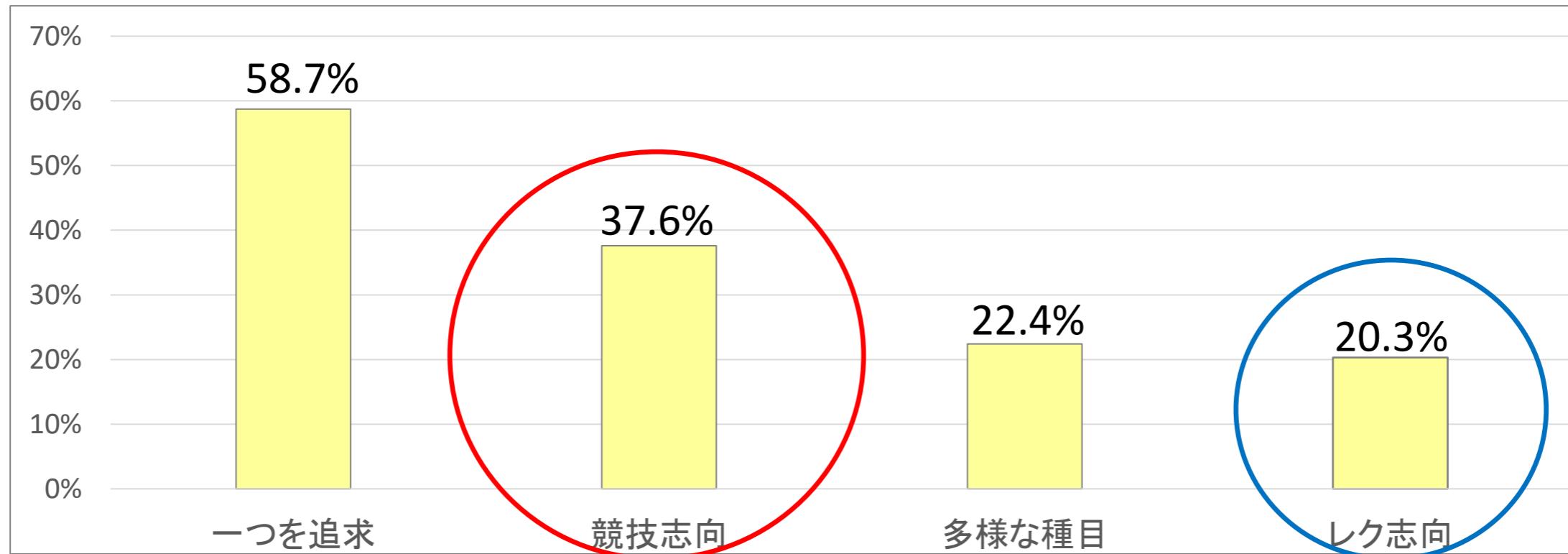


2 生徒の活動ニーズ(アンケート結果)

■未来へつなぐ部活動改革アンケート」(令和5年10月 東京都教育庁実施)

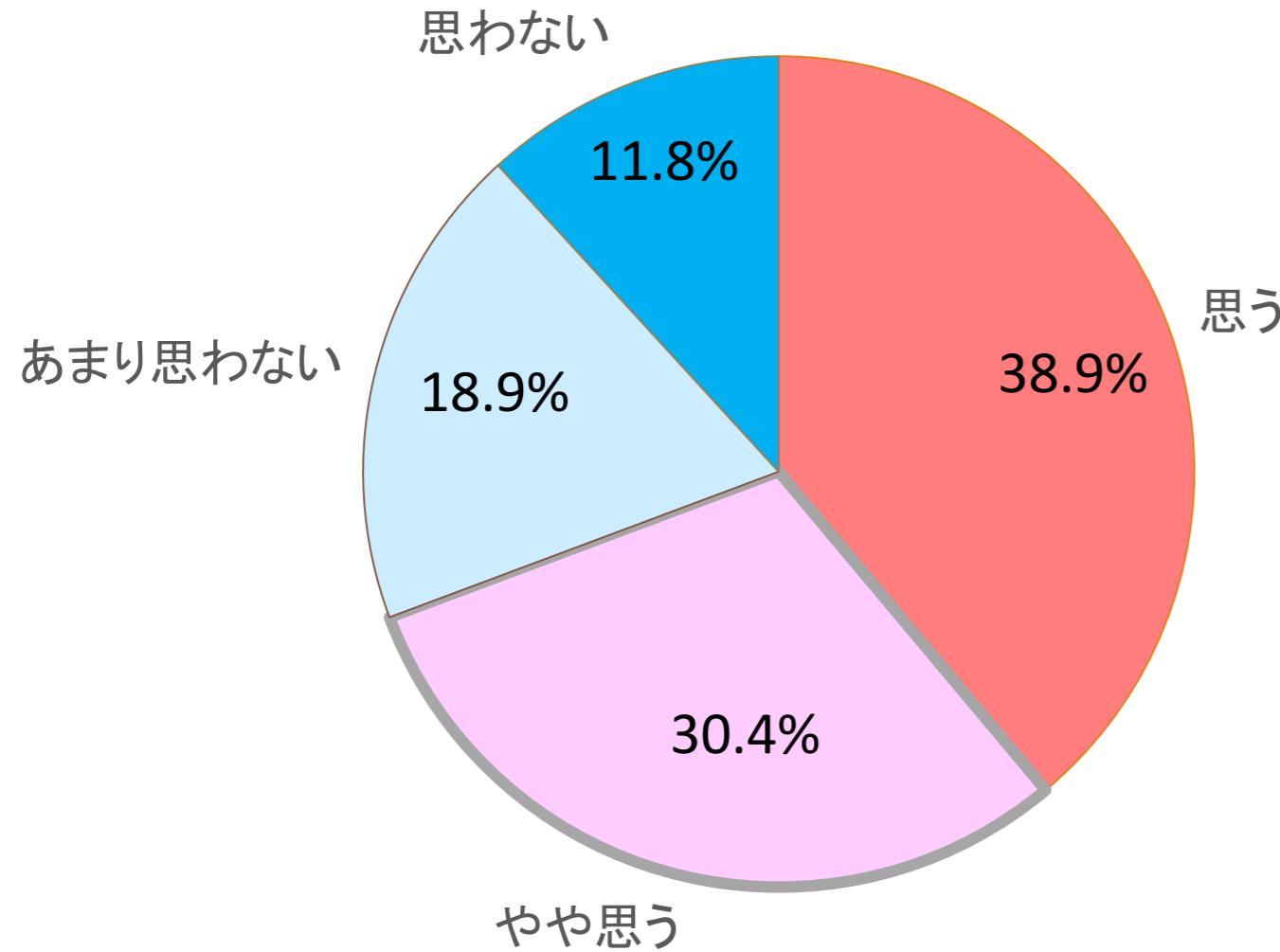
○どのような部活動や地域の活動に参加したいか(複数選択)

- ・「競技志向」「レクレーション志向」 多様な声がある
- ・一つを追求するのではなく「多様な種目に親しみたい」との声もある



(回答数)生徒21,604名 内 杉並区700名

○専門的な指導を受けたいか



- ・7割弱が専門的な指導を望んでいる
- ・3割強が専門的指導を望んでいない

※参考「未来へつなぐ部活動改革アンケート」(令和5年10月 東京都教育庁実施) (回答数)生徒21,604名 内 杉並区700名

■運動部活動に関するアンケート(令和5年2月杉並区立中学校PTA協議会実施)

○運動部活動に求めていること

- ①身体を動かして楽しむ環境…75%
- ②スポーツの技術向上…59%
- ③人間関係を作る環境(集団生活)…56%
- ④勉強以外の何かに取り組める環境…43%
- ⑤自分の目標を設定して、それに向けて自身で工夫、努力する環境…36%
- ⑥他校・他者と競争し、目標を達成する環境…28%

※アンケートの回答結果から割合を算出

(設問)中学校の運動部活動に求めていることを3つ教えてください (回答数)生徒1,216名

3 生徒の声(中学生への直接のヒアリング <区立中学校5校約60名>)

- 専門的な指導、競技志向のスポーツ活動に取り組みたい
- レクレーション志向、一つの種目を追求するのではなく多種目の体験をしたい
- 指導者の配置は望まず、体育館や校庭で自由にスポーツに親しむ環境が欲しい
- 友人と会話できるカフェのような環境、静かに勉強できる環境が欲しい など

→生徒が望む放課後等の過ごし方には、多様なニーズがある

4 部活動に関わる「地域」

①学校支援本部など学校を取りまく地域の基盤

→全ての区立中学校に学校支援本部が設置されており、
地域人材の協力を得て、部活動を含めた学校教育活動を支援し、
生徒の成長を支えている。

②民間事業者やNPO法人など、

部活動活性化事業(平成25年度から実施する区の独自事業)の受託者
→令和7年度は、約10事業者・NPO法人が、
約50の部活動の技術指導を実施している

5 課題解決の方向性

部活動の地域移行・地域展開を

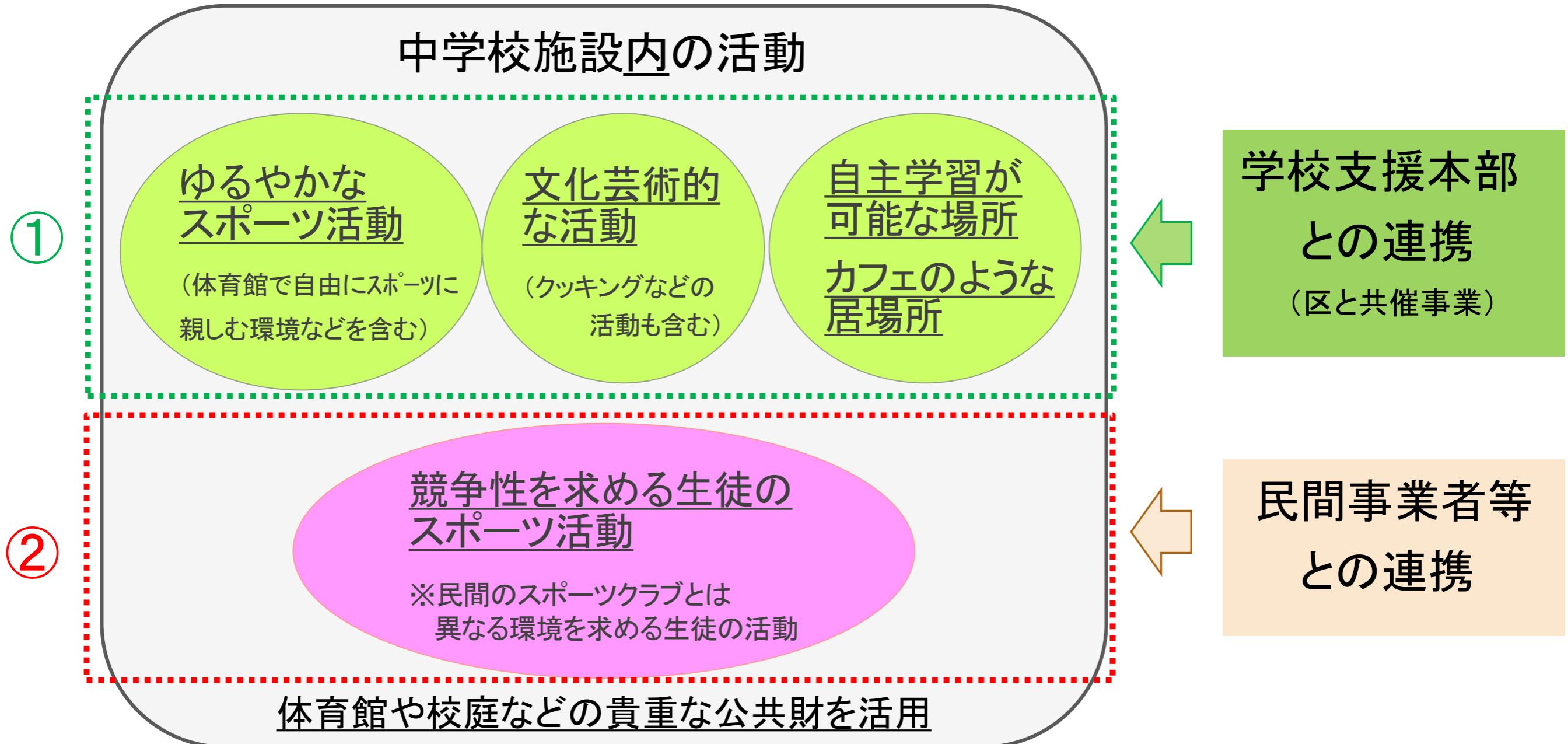
これまでの部活動をそのまま地域に移行することではなく、

生徒が望む放課後等活動の充実と捉え

学校支援本部や民間事業者などの「地域全体で支え」

「多様な選択肢」を確保する

○放課後等活動を地域全体で支える(部活動の地域展開)



①学校支援本部と連携した放課後等活動の充実に向けて

中学校施設内の活動

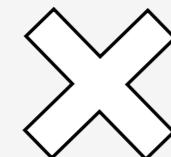
ゆるやかな スポーツ活動

(体育館で自由にスポーツに
親しむ環境などを含む)

文化芸術的 な活動

(クッキングなどの
活動も含む)

自主学習が 可能な場所 カフェのような 居場所



学校支援本部と連携

学校支援本部の活動(区と共に事業)

①放課後等活動<令和7年度新規事業>

ゆるやかなスポーツ活動やアート、茶道などの
文化芸術等活動などが展開されることを想定※
(現在の部活動外部指導員などの地域の方にご協力
いただける範囲で実施)

②すぎなみ塾<既存事業>

生徒の自主学習の場の提供

③その他学校支援本部の自主活動<既存事業>

友人と会話できる居場所

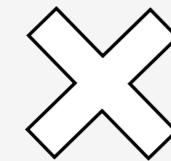
※近隣のスポーツ少年団の指導者や保護者のOBなどと協力し、
競争性のあるスポーツなどを実施することも可

②民間事業者等と連携した放課後等活動の充実に向けて

中学校施設内の活動

競争性を求める生徒の スポーツ活動

※民間のスポーツクラブとは
異なる環境を求める生徒の活動



民間事業者等と連携

区のスポーツクラブ (民間事業者等への委託)

- 専門的な指導者を配置し、
技術の向上を図ることができるスポーツ活動
- 大会参加 (中体連大会か否かは問わず)
- 学校単位ではなく、区立中学生であれば誰でも
参加できる活動※

※高円寺学園等の拠点校方式の合同部活動の発展系

6 放課後等活動の充実・部活動の地域展開の

「目指す将来像」

既存の塾や習い事の他、学校支援本部の放課後等活動や民間事業者等と連携した区のスポーツクラブなどの多様な選択肢の中から、

生徒自らが、主体的に
自身の志向に合う「放課後や週末の活動」を選択し、

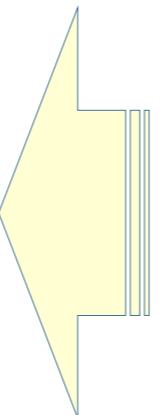
活動の中で、
多様な価値観をもつ生徒（他校も含む）や地域との交流を通じて
社会性等を育みながら、人生を豊かに過ごすことができる

～将来像が実現した際の生徒の活動(イメージ)～

(多様な放課後等の活動)

- ・学校支援本部の活動
- ・民間事業者等と連携した区のスポーツクラブ
- ・民間のスポーツクラブ
習い事、学習塾
- ・ゆう杉並/児童館
- ・図書館

など



自身の志向に合わせた活動を生徒が選択

- Aさん
(平日)学習塾と
学校支援本部の美術に参加
- Bさん
(平日)学校支援本部のスポーツ活動に参加
(休日)区のスポーツクラブ・野球に参加
- Cさん
(平日)学校支援本部の料理クラブに参加
(休日)民間の水泳クラブに参加

など

7 令和7年度の取組

①学校支援本部の放課後等活動 <新規・モデル実施>

●概要

- ・学校支援本部と区の共催事業
- ・各学校支援本部の地域特性・人材に応じた内容・頻度で実施
- ・ゆるやかなスポーツ、アート、茶道、クッキングなどの活動の展開を想定

将来像・新たな価値

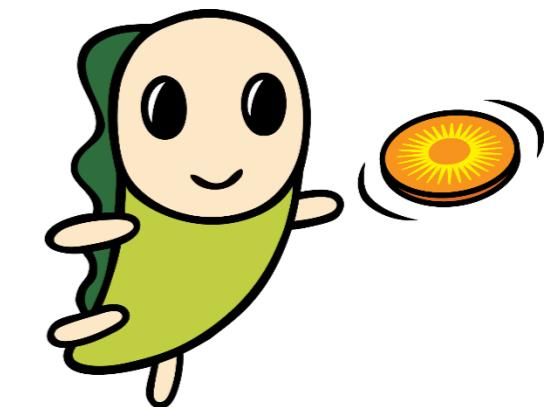
- ・中学生だけではなく卒業生や学区域の小学生なども活動に参加することや
担い手として多くの地域住民等が参画することを想定
- ・生徒は、学校教育とは別の場所で、参加者や活動を支える地域人材との交流
を通じて、豊かな人生を歩むうえで重要な要素である「地域や人とのつながり」
を深める

※すぎなみ塾などの既存の事業も継続実施

(富士見丘中の実施状況)

○マルチ・スポーツクラブ

- ・部活動として実施していた
トレーニングスポーツ部(月、木曜日に卓球、ドッヂボールなどを実施)、
マルチ・スポーツクラブ(土曜日にYOU・FO、アルティメットなどを実施)を
学校支援本部の放課後等活動に移行
- ・毎週 月・水・土に実施
- ・各活動日に、指導者及び
安全管理を行う調整担当者を1名配置
- ・現在の参加者は、27名



(富士見丘中の実施状況)

○クラフトデザインクラブ

- ・部活動として外部指導員(有償ボランティア)が指導していたクラフトデザイン部(美術・創造活動)を学校支援本部の放課後等活動に移行
- ・毎週 月・木に実施
(長期休業期間の活動はなし)
- ・各活動日に指導者及び調整担当者を1名配置
- ・現在の参加者は16名



(富士見丘中の実施状況)

○安全な活動に向けて 共催事業として区とともに実施

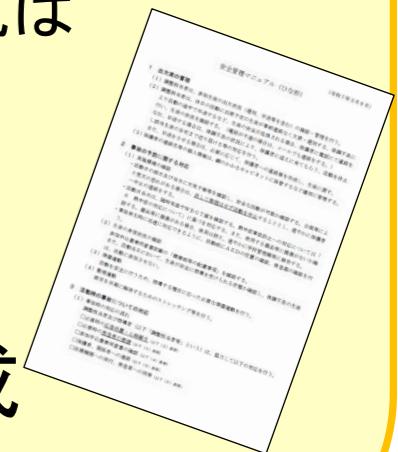
保険の加入

- ・参加生徒、指導者、調整担当者などの傷害、損害賠償を補償するスポーツ安全保険に加入

※保険代は区が負担
(学校支援本部への分担金)

安全管理体制

- ・活動時は、指導者その他に出欠管理や緊急時の対応を行う調整担当者を配置(複数人で対応)
※指導者及び調整担当者への謝礼は区が負担(2,400円/時間)
- ・緊急時の対応を整理した安全管理マニュアルを作成
(区がひな形を用意)



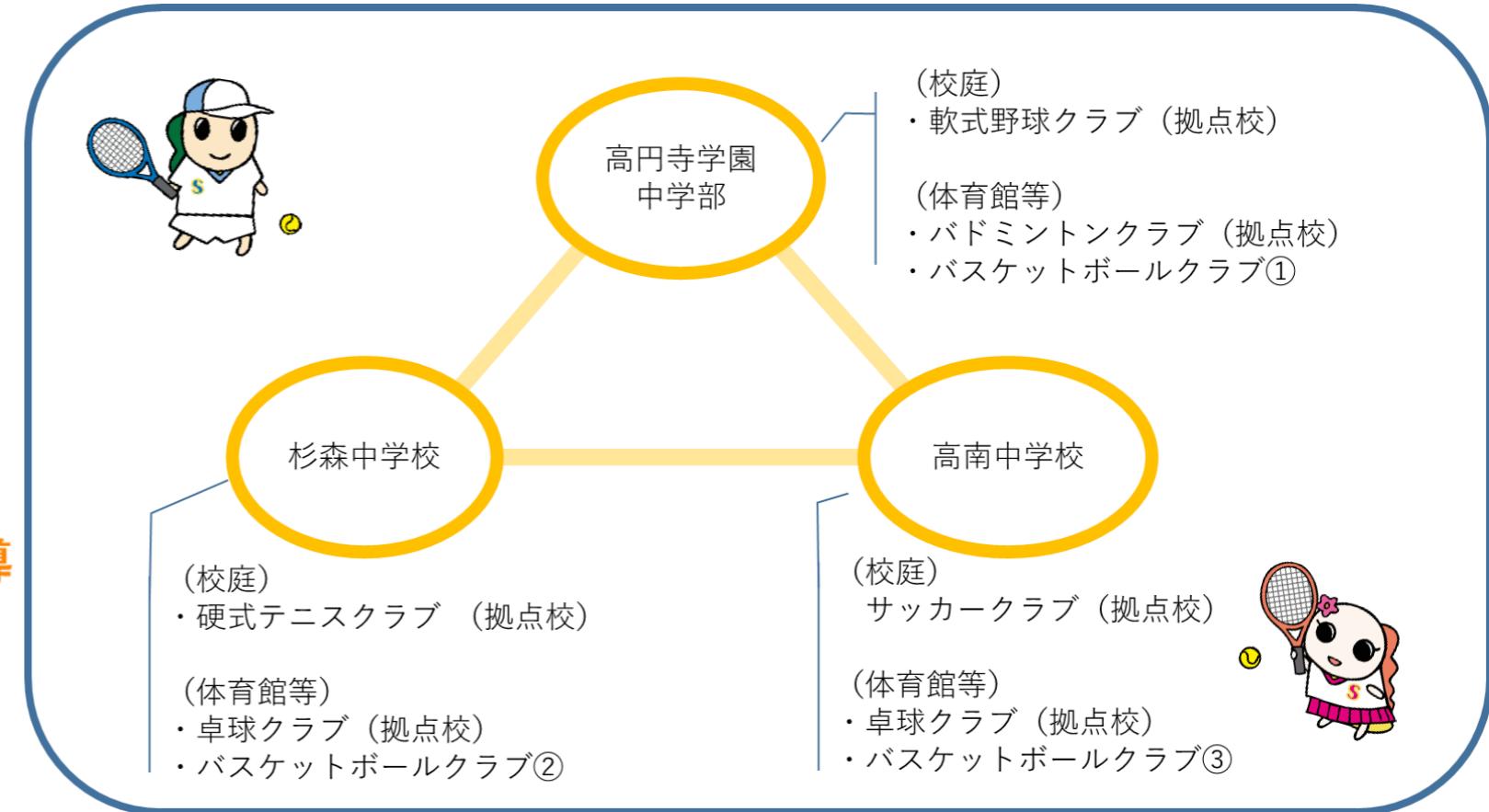
②拠点校方式の合同部活動

●概要・運営体制

- ・練習週4日、大会出場
- ・拠点校方式の合同部活動
- ・大会引率も含めて
民間事業者に運営を委託

専門の技術指導
大会引率など

民間事業者



将来像・新たな価値

- ・競技志向や技術向上を望む生徒が継続的にスポーツに親しむことができる
民間事業者等に委託して実施する区のスポーツクラブ
- ・学校の垣根を超えた新たな仲間とスポーツを通して成長することができる

(高円寺学園・杉森中・高南中の実施状況)

入部状況(6月23日現在)

●拠点校方式の合同部活動

○バトミントン(拠点・高円寺学園)

高円寺学園25人 高南中学校3人 杉森中学校5人

○軟式野球(拠点・高円寺学園)

高円寺学園11人 高南中学校2人 杉森中学校0人

○サッカー(拠点・高南中学校)

高円寺学園3人 高南中学校2人 杉森中学校5人

○硬式テニス(拠点・杉森中学校)

高円寺学園5人 高南中学校0人 杉森中学校21人

○卓球(拠点・杉森中学校・高南中学校)

高円寺学園0人 高南中学校7人 杉森中学校35人

(内 杉森中から高南中に移動して活動する生徒 14人、
高南中から杉森中に移動して活動する生徒 1人)

●各校実施

○バスケットボール

高円寺学園31人
高南中学校15人
杉森中学校27人



●入部者数 197名

●内 他校に移動して活動する
生徒 38名

※各活動は、7月頃から実施します

8 実施展開に向けたスケジュール(案) (①学校支援本部の放課後等活動)

○令和7年度

4月 … ○富士見丘中でモデル実施

6月 … ○中学校自主校長会
(事業概要の説明及び『実施意向調査』の依頼)

○学校支援本部みらい会議
(事業概要の説明及び『実施意向調査』の協力を依頼)

7月 … ○富士見丘中生徒等へのアンケート

○モデル事業の検証・評価

○実施意向調査の結果をもとに該当校・学校支援本部へのヒアリング

8月 … ○支援本部・学校合同学習会

9月 … ○『実施意向調査』の調査結果を踏まえ
令和8年度予算要求

3月頃… ○区議会で令和8年度の予算の議決?

○令和8年度以降

予算の範囲内で実施 (実施時期は実施校・種目ごとに異なる)

9 実施展開に向けたスケジュール(案) (②拠点校方式の合同部活動)

○令和7年度

5月～ … 高円寺学園、杉森中、高南中で体験会の実施

7月～ … 高円寺学園、杉森中、高南中で活動の実施

10月～ … 高円寺学園、杉森中、高南中生徒等へのアンケート
事業の評価・検証

○令和8年度

事業の評価・検証結果を踏まえて、
今後の実施展開の方向性を整理し、杉並区の実行計画等へ反映